	<p style="text-align: center;">事前のお知らせ</p> <h2 style="text-align: center;">「日本の植物学の父」</h2> <h1 style="text-align: center; background-color: #800000; color: white; padding: 5px;">牧野富太郎大泉転居 90周年 企画展</h1> <p style="text-align: center;">ひび にわ くさはなみ かぞく ささ としつき 「日々に庭の草花看るたのし〜家族に支えられた歲月〜」を開催します！</p>
<p>会 期</p>	<p>平成28年4月23日(土)～6月26日(日) 午前9時30分～午後4時30分 ※火曜休館(ただし、5月3日(祝)は開館、6日(金)は休館)。</p>
<p>と ころ</p>	<p>練馬区立 牧野記念庭園記念館 (練馬区東大泉6-34-4) 西武池袋線「大泉学園駅」南口下車 徒歩5分</p>
<p>区は、23日から、区立牧野記念庭園(東大泉6丁目)で、牧野富太郎大泉転居90周年企画展「日々に庭の草花看るたのし〜家族に支えられた歲月〜」を開催します(入場無料)。</p> <p>牧野富太郎博士は「日本の植物学の父」と呼ばれた、世界的な植物学者で1926(大正15)年に渋谷から大泉に転居し、亡くなるまでの30年余りを大泉で過ごしました。今年は大泉転居から90年にあたることから、富太郎の大泉での暮らしぶりとそれを支えた家族に焦点をあてた企画展を開催します。</p> <p>本展では当時の大泉の様子を紹介するとともに、大好きな草木に囲まれ、大切な家族に支えられて暮らした富太郎の大泉での日々を写真やハガキ、愛用品などで振り返ります。会期中には講演会や観察会、学芸員による展示解説も行います。ぜひ、取材していただきますようお願い申し上げます。</p> <p>※詳細はこちらのHPでご確認ください。(http://www.makinoteien.jp/index.html)</p>	



▲ リーフレット

【会期中のイベント】

●講演会「牧野富太郎博士と大泉の植物」 講師：田中 伸幸(国立科学博物館研究員)

日時：4月24日(日) 午後2時～午後3時30分
 定員：30名(申し込みは既に終了しています)
 場所：牧野記念庭園 講習室

●観察会「牧野式自然塾 植物をしらべよう」 講師：横山 譲二(牧野植物同好会会員)

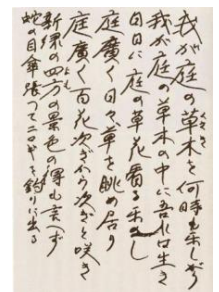
日時：4月29日(金・祝) 午前10時～正午
 定員：小・中学生15名(申し込みは既に終了しています)
 場所：牧野記念庭園・石神井公園

●ギャラリー・トーク(学芸員による展示解説)

日時：5月1日(日)、6月12日(日)
 午後2時30分～午後2時50分
 定員：各20名(先着順、当日会場受付、入館・入場無料)
 場所：牧野記念庭園記念館 企画展示室



▲ 牧野富太郎博士



▲ 武井近三郎著『牧野富太郎博士からの手紙』より

【牧野記念庭園の紹介】

世界的に著名な植物学者である牧野富太郎博士が大正15年から昭和32年まで居住し、自らが採取してきた植物を植え、「我が植物園」として愛した住居跡を整備した庭園です。園内には牧野博士が発見し、妻の名をとって命名したスエコザサをはじめ、日本で最大級のセンダイヤ(サクラ)、ヘラノキなど300種類以上の植物が成育しています。

【問い合わせ】 練馬区 みどり推進課 花とみどりの相談所 電話03-3976-9402